

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	第2回高齢者保健福祉計画策定委員会	
開催日時	令和3年1月15日(木) 午後2時～午後3時	
開催場所	嬉野庁舎 2-3-1会議室	
傍聴の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	堤安直委員、坂口典子委員、山口政廣委員、近藤毅委員 光武良崇委員、古賀哲郎委員、舩津光弘委員、 永尾春子委員、馬場昇委員、副島裕二委員、陣内清委員
	事務局	大久保課長、佐熊副課長、富永主査
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	・ 高齢者保健福祉計画(案)について	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	高齢者保健福祉計画について		
内 容	計画案の内容について各分野のご意見を伺う		
審議経過	事務局	第1回の会議や今回の資料送付後、質問があった部分やご意見を頂き、反映した部分についての説明を行った。	
	委員	(上の説明を受けて) P15の5行目、「著しく」を「着実」にと変更してはどうか。	
	事務局	そのように変更する。	
	委員	P16の認定率が緩やかに低下しているのは理由があるのか。	
	事務局	団塊の世代が高齢者となったことで母体は増えているが、今のところ、その世代はまだ元気であるためではないかと考える。	
	委員	認定の基準が厳しくなったというわけではないか。	
	事務局	基準は変わっていない。	
	委員	P41の緊急通報システム事業や愛の一声運動推進活動事業について微妙に数値が減ってきているのはなぜか。	
	事務局	携帯電話等の普及により、このような制度を利用しなくても家族からの安否確認が可能になったためと思われる。時代の変化に即した形態にシステムを検討する必要がある旨付け加えることとする。	
	委員	P47 老人福祉センターに*新型コロナ…の表記をするのであれば前ページの生きがいデイサービス部分にも注釈を付け加えるのが妥当であると考えます。	
事務局	そのように変更する。加えて P47 の 6 行目市営管理者は指定管理者の誤りである。ここも訂正する。		
委員	P58 の若年性認知症の人への支援について、杵藤地区では 12 月の 2 号被保険者の数は 3 2 名であったが、嬉野市で若年性認知症と診		

事務局	断を受けて居る方は何人居られるのか。
委員 事務局	現在把握しているので3名ほど。ただ診断を受けた方が皆認定を受けるわけでもなく、把握が難しいのも現状である。 その数名のためにこの項目を計画に入れるのはどうなのか。 数名であっても、相談を受けた時に適切に対応できるように計画にいれておきたい。
委員 事務局	P51① [計画] 推進して「行く」は「いく」の誤り。 訂正する。
委員	P65 の5 専門的人材の確保に補助金を交付するとの表記があるが、そのような計画が実際あるのか。
事務局	実際に来年度の予算で補助金をを出すよう検討しているが、議会で議決を受けるまでは検討していると表記させて欲しい。 補助金だけではなく、広報等他の政策にも力を入れて欲しい。 そのように考えている。「補助金を交付し」を最終的には「補助金を交付するなどし」と変更する。
委員	同頁の7.生活困窮者への支援について、今年度より「会計改善支援事業」に取り組んでいるので、その旨書き加えてはどうか。制度を知って頂く意味合いでも
事務局	そのように変更する。
事務局	計画の挿絵や表紙に嬉野のゆるキャラ「ゆつつらくん」を使用しているが、他の自治体でゆるキャラの使用について意見があった例があると業者より提言を受けたが、それについてご意見を頂きたい。
委員	宣伝の意味合いでも良いのではないか。
委員	シンプルなデザインより親しんで手にとってもらえるのでは？手にとってもらうことに意味がある計画であるので。できればカラーにした方が良いと思うが、予算的に厳しいのか。
事務局	一応意見があった旨伝える。
委員	P43⑦在宅介護者交流事業の令和2年度の見込み数、40人はコロナ渦の中難しいのではないか。
事務局	1回目はすでに終了しているので、40名は多すぎるかもしれないが、開催する場合は十分対策を行った上で行う予定である。
事務局	P48 の5. 高齢者の権利擁護事業に高齢者虐待に関する記載がないので追加する予定である。

委員 事務局	<p>同頁の成年後見制度は制度として活用されているか。 独居や家族が居ても関わりがない事例等において活用されている。 特に最近は施設入所時に必要になってきている為、増えてきている。</p>
委員 事務局	<p>市長申立の報酬ほどの程度か。 弁護士で 18,000 円程度。</p>
委員 事務局	<p>資産を処分することが必要な事例がますます増えてくると思うので 体制を拡大し、対応する方が望ましいと考える。 次頁にもあるような中核機関が現在検討されている。このような機 関と合同で事業を行っていく予定である。</p>
委員 事務局	<p>この計画は住民同士の共助という考えが大切になってくると思う が、それを書いてある箇所はあるか。 仰るとおり、今後は受けるだけではなく、共助の考えが重要となっ てくる。P6～7に理念を、P51の地域コミュニティの部分とP60 ～の生活支援体制整備事業で住民の助け合い、共助の記載がある。</p>
委員 事務局	<p>この計画ができれば、制度と周知する為にも老人会の寄り方等で説 明しに来て欲しい こちらからもぜひお願いしたいところである。</p>